

支援HP「病気の子どもを理解のために」

病気の子どもへの教育も特別支援教育なのですか？

病気の子どもは学校を休ませたほうがいいんですよね？

学校は病院じゃないから病気の子どものケアはできませんよね？

病気の子どもは体育の授業をしなくてもいいんですよね？



先生方の疑問あれこれ



確かに「病気の子ども」には運動を控えさせたり、休養させたりした方がよい場合はあるでしょう。

しかし、一口に「病気」といっても多種多様であり、「病気」の症状や実態に応じた適切な支援、考え方、施設・設備等への配慮が「学校教育」として必要になります。

参加しやすい体育の授業を考えたり、長期欠席時の家庭学習を支援したりすることも学校の仕事です。

それが「病気の子ども」への特別支援教育です。

「病気の子ども」を担当している、あるいは教えている小中学校や高等学校、特別支援学校の先生方。養護教諭、特別支援教育コーディネーターの先生方。そして校長先生、教頭先生。

先生方の日常の教育実践に少しでもお役に立てるような教育支援HPが完成しました！

「病気の子ども」たちの支援についてわからないことがあったり、不登校児への対応に悩んだりしたときは、一度このページを開いてみてください。ヒントが見つかるかもしれません！

「病気の子どもを理解のために」HPの開き方

(その1) 直接入力

<http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryoku/byoujyaku/supportbooklet.html>

(その2) 国立特別支援教育総合研究所HPからの入り方

- ①「国立特別支援教育総合研究所」名で検索。TOP ページを探す。
- ②TOP ページの左側から「教育コンテンツ」をみつけ、クリック
- ③「教育コンテンツ」ページの一番下「病気の児童生徒への特別支援教育」をクリック

鳥取県には「病気の子ども」の教育相談機関

(学校) が2校あります。どうぞお近くの学校までお気軽にご相談ください。

【担当：特別支援教育コーディネーター】



県立鳥取養護学校 TEL0857-26-3601

市立米子養護学校 TEL0859-33-4775

【HP制作】

全国特別支援学校病弱教育校長会

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所